

工事費積算内訳書の作成等にあたっての注意事項

積算内訳書の記載内容について、確認ポイントをまとめましたので、下記について今一度提出前（電子入札システムへの登録前）に確認し入札してください。

（内訳書不備により失格となる要件）

- ア 内訳書が未提出の場合
- イ 提出された内訳書が未記載である場合
- ウ 2通以上の内訳書を提出した場合
- エ 入札参加者の所在地、商号又は名称、代表者（委任者の場合は委任者）の職・氏名が確認できない場合又は明らかに異なる場合
- オ 入札参加者の代表者印（委任者の場合は委任者印）の押印がない場合（電子入札による場合を除く）
- カ 工事名が確認できない場合又は明らかに異なる場合
- キ 入札価格と内訳書の合計値が大きく相違している場合
（千円未満の端数調整の間違いと思われる相違は可とする）
- ク コンピュータウイルスに感染した内訳書のファイルを添付している場合
- ケ 切り抜き設計書にない別の項目を作成し一括して価格の調整や減額をすること

（確認ポイント）

1. 内訳書の合計金額と入札額が一致しているか。

※千円未満の端数処理と思われる相違は可。

（3ページ目の注1：端数調整・処理について（例）参照のこと）

実際に失格（従来は無効）となった例があります。内訳書の合計は入札金額と同額としてください。

2. 指定様式を使用しているか

※平成26年5月～平成27年3月まで使用した様式を添付しても即失格とはしませんが、現在の様式を使用のこと。

何社か以前の様式や一部加工したものを使われていますが、今後は指定した様式を使ってください。

3. 指定のファイルで作成しているか

PDF・・・拡張子がpdf（今回修正分）

※PDF形式以外のファイル（Word及びExcel）添付が失格要件となるものではありませんが、PDF形式への切りかえをお願いします。

4. 工事費の各項目の積み上げ計算が正しくできているか。

※工事費内での積み上げ漏れや二重に足しているものは失格とする場合があります。
※内訳書の内容について不明な点が生じた場合、電話連絡等をする場合がありますので、ご了承ください。

5. 記載すべき項目を満たしているか。

- ・提出日, 所在地, 商号又は名称, 代表者の職・氏名, 工事名が正しく記載されているか。

※月日の勘違い。代表者の職の記載漏れ。工事名を一部省略していたものは、軽微なものとして有効としましたが、間違いのないよう気をつけてください。

営業所で指名願を提出している社が、本社名で作成した内訳書を添付した場合は落札とならず、失格となります。

6. 一括調整や減額の項目の記載がないこと。

- ・工事費積算内訳書に「調整」又は「減額」など切り抜き設計書にない別の項目を作成し、一括して価格の調整や減額をしていないこと。ただし各項目で調整・減額するものは可とする（3ページ目の参考を参照のこと）。※根拠が不明確であるため一括での調整・減額は不可とします。

7. 直接工事費については、その内訳が必要です。

直接工事費 〇〇〇円のみを記載し、その内訳がない社がありました。工事費積算内訳書記入例にあるとおり、内訳も記載してください。不明な点があるときは契約検査課までお尋ねください。

参考) 土木一式工事の場合(内訳書記入例より抜粋)

工事区分・費目・工種	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					
道路土工				0,000,000	
作業土工	1	式		0,000,000	
残土処理工	1	式		0,000,000	

例のとおりこのレベルまで記載してください

参考) 建築一式工事の場合(内訳書記入例より抜粋)

工事区分・費目・工種	数量	単位	単価	金額	備考
直接工事費				0,000,000	
建築主体工事				0,000,000	
解体工事	1	式		0,000,000	
仮設工事	1	式		0,000,000	
土工事・地業工事	1	式		0,000,000	

例のとおりこのレベルまで記載してください

※記載レベルの不足が著しい場合は、失格とする場合があります。

8. 単価欄に数値を記載する場合は、金額欄の数値と一致させること

- ・自社積算した数値を単価欄に入れ、そこから一定の率を乗するなどして金額欄に数値を計上しているケースがありました。現在、単価まで記載した積算内訳書を求めています。単価欄に記載するのであれば、金額欄の数値と合わせてください。

参考

工事費積算内訳書

応札日～開札日の日付としてください

平成 27 年 6 月 18 日

総社市長 様

工事名は切り抜き設計書を見て正しく記入してください。

所在地 総社市中央△△△
 商号又は名称 □□□株式会社
 代表者 職・氏名 代表取締役 ○○ ××

工事名 駅前支線3000号道修理工事

代表者の職が記載されていない例が見受けられます。ご注意ください

工事費の内訳

工事区分・費目・工種	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					
道路土工				1,700,000	
作業土工	1	式	単価欄に記載するなら金額欄と合わせることに	1,000,000	① ←調整・減額可
残土処理工	1	式		700,000	② ←調整・減額可
舗装工				360,000	
直接工事費計	1	式		4,500,000	③ ←上記工事費の積上げと一致
共通仮設費	1	式		400,000	④ ←調整・減額可
現場管理費	1	式		1,200,000	⑤ ←調整・減額可
一般管理費等	1	式		698,400	⑥ ←調整・減額可
調整・減額 ⚠					←このような項目を作り金額を調整するのは不可
合計(=入札価格)				6,798,400	⑦ ③④⑤⑥の合計と一致すること

⑦の合計とシステムに入力する入札価格は一致することが原則ですが、端数調整の関係として1000円未満(999円まで可)の差に限り認めています。1000円以上の差異は失格となります。

注1:端数調整・処理について(例)

積算内訳書の合計	入札価格	判定	×の理由
6,798,400	6,790,000	×	差が1000円以上
	6,797,400	×	差が1000円以上
	6,797,500	○	
	6,798,000	○	
	6,799,000	○	
	6,799,400	×	差が1000円以上
	6,800,000	×	差が1000円以上